

'07.5

毎月1回20日発行 定価 1部60円  
発行所 兵庫県商工会連合会  
発行人 会長 土谷正男  
神戸市中央区花隈町6の19  
☎078(371)1261(代)〒650-0013  
http://www.shokoren.or.jp/  
編集人 澤田 功  
印刷所 大和出版印刷株式会社  
会員の購読料は会費に含んでおります

第 597 号

# 兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry



## Contents

- 県連合会Letter 2～4頁
  - ・平成18年度臨時総会
  - ・第5回理事会
  - ・商工会情報化推進委員会
  - ・商工会新融資制度創設研究会
  - ・商工会職員退職金共済運営小委員会
  - ・第2回事務局連絡会議
  - ・商工会地域活性化研究会
  - ・産学連携記念フォーラム
- 商工会Letter 5頁
  - ・日本・フィリピン友好セミナー(芦屋市)
  - ・第1回やきものの里「春ものがたり」(篠山市)
  - ・招福の香エンジェル・バグ(一宮町(現淡路市))
  - ・播磨臨海地域に道路建設を(稲美町、播磨町)
- 特集 平成19年度チーフアドバイザー紹介 6頁  
 創業から情報化・経営革新まで 是非、ご利用下さい

## 兵庫県立大学との 産学連携記念フォーラム

兵庫県商工会連合会

県連合会(土谷正男会長)は、去る三月十六日、神戸市西区・兵庫県立大学「三木記念講堂」において、産学連携記念フォーラムを開催した。

このフォーラムは、兵庫県立大学と事業連携協定を締結したことを記念して開催。一般参加、大学関係者を含めて二百二名が参加した。

(詳しくは4ページに掲載)

## 定款の一部改正などを承認

### 平成十八年度 臨時総会

県連合会は、三月二十六日、神戸市「六甲荘」で平成十八年度臨時総会を開催した。出席者は六十三名（内、委任状出席者二十二名）。

平成十八年度商工安全共済・商工貯蓄共済推進運動表彰式では、両目標を達成した四団体に表彰状と報奨金が土谷会長から手渡され、その他十九商工会にも報奨金が贈られた。

続いて、来賓の県産業労働部の表具部長と県共済協同組合の

田中理事長から祝辞があった。

議案審議では、杜町商工会の小林会長が議長に選任され、次の四議案を審議、いずれも承認された。

**第一号議案** 定款の一部改正について

**第二号議案** 平成十八年度収支補正予算設定について

**第三号議案** 平成十九年度事業

計画並びに収支予算設定について

**第四号議案** 平成十九年度借入金最高限度額の設定について

そのうち第一号議案は、県下各地で進められている商工会合併に伴い、今後も商工会数の減少が予想されるため、理事定数を改正するもの。また、役員任期を全国連の役員任期に合わせるため、定款の定め拘らず、平成十九年五月の改選期に限り三年の任期を二年とすることが

士を委員長に迎え、理事者側、職員側双方三名の委員で協議を行った。

協議事項は次のとおり。

**第一号議案** 退職手当支給率の見直しについて

**第二号議案** 四号業務外死亡退職者の取扱いについて

**第三号議案** 退職勧奨実施要綱の改正について

事（参照）のほか、次の議案が承認された。

**第二号議案** 商工会統一諸規程「職員給与規程」等の一部改正について

**第三号議案** 会費の賦課基準となる商工会員数の決定について

## 新規事業など説明

### 第二回事務局連絡会議

県連合会では三月九日、神戸市・六甲荘で平成十八年度第二回事務局連絡会議を開催した。出席者五十名。

兵庫県立大学経営学部との産学連携、平成十八年度設置の四研究会の状況、平成十九年度事業計画（案）を報告したほか、各課から連絡の後、意見交換を行った。

その中で、平成十九年度事業関連では、「小規模事業者新事業 全国展開支援事業（地域資源∞全国展開プロジェクト）」の募集要項、平成十九年度地域活力増進事業実施要領や商人塾

案公募方式で新たに実施するほか、商工会地域力調査研究事業の実施、兵庫県立大学との産学連携事業の推進などに取組んでいく。

「商工会等の組織強化」では、商工会活動の原点に立ち帰り、経営改善普及事業の基本である巡回指導を、一会員当たり年三回以上を目標にきめ細かく行い、多様化する会員ニーズに即応し、商工会に対する会員の信頼向上に努めることなどが承認された。

実施事業（地域活力増進事業）について説明した。



▲開会のあいさつを述べる土谷県連合会長

## 平成十八年度 第五回理事会

県連合会は三月五日、県商工会館で平成十八年度第五回理事会を開催。三月二十六日に予定される臨時総会への上提議案である第一号議案（臨時総会の記



## 新年度情報化事業(案)などを協議

(商工会情報化推進委員会)

県連合会は三月二日、県商工会館において、「商工会情報化推進委員会（壺坂正昭委員長）夢前町商工会会長」を開催した。

協議内容は次のとおり。

①「平成十九年度事業骨子（案）について」

基幹システムの導入推進や現行の記帳機械化システムの後継システムとして、インターネットを通じて直接処理が可能な「Nettde 記帳」を導入し事業者の自計化の推進を図る。また、全商工会へのグループウェア

の導入について取り組む。

②「人材育成について」

eラーニング研修の推進を

図り、その受講結果については、各会長に通知する。

③「平成二十年度ホストコンピュータ更新に伴う記帳機械化システムについて」

現在、各商工会に設置されて

いる記帳機械化用端末機は、ホスト更新まで契約更新する。なお、端末機スポット保守共済事業については、現在の契約物件がなくなった時点で廃止する方針を確認した。

## 中間報告書(案)など協議

(商工会地域活性化研究会)

県連合会は、去る三月十二日、県商工会館で第五回商工会地域活性化研究会を開催し、学識経験者を含む委員・オブザーバー等十五名が出席した。

同研究会は、地域経済や小規模事業者を取り巻く環境が大き

く変化する中、商工会がこれまで以上に地域と企業の繁栄に役立つ組織となるために、組織・事業・財政などのあり方を検討している。十八年度より二カ年計画で設置されており、今回は

## 新融資の骨子(案)などを協議

(商工会新融資制度創設研究会)

去る三月十九日、第四回商工会新融資制度創設研究会（委員長 兵庫県立大学・佐竹隆幸教授）が県商工会館で開かれ、同研究会の報告書（案）について協議した。出席委員は、七名。

報告書は、「Ⅰ新融資制度創設の必要性・背景」「Ⅱ新融資制度（案）の概要」「Ⅲ資料編」の三編で構成。

第一編においては、現在の中小企業金融では、事業意欲のある経営者の資金ニーズにこたえられない現状を指摘。商工会を主体とする融資制度の検討に至っ

作成に向け、引き続き議論を深めることとなった。

### 主な行事予定

日	内容
14日(木)	商工会心用研修会 (朝来市・姫路市)
中旬	県青連正副会長 理事会
中旬	県女性連正副会長 理事会
中旬	商工会職員協議会正副会長会・理事会
中旬	同友会・通常総会
15日(金)	第2回正副会長会 (県商工会館)
29日(金)	小規模事業強化対策事業推進委員会 商工会職員協議会 総会

## お店ガイドブック 「アシボン」三冊作

芦屋市商工会（小田脩造会長）では、市内を中央部、北部及び南部に三分割して、その地域の事業所を紹介したガイドブック「（芦屋の本）アシボン」三冊作を完成。

この三冊作の完成を記念し、「アシボン三冊を収納できる「アシボンブックホルダー」を作成。一パック三〇〇円（ア



シボン三冊セット入り）で販売。  
☎〇七九七（二三）二〇七一



▲第5回商工会地域活性化委員会

# 産学連携記念フォーラムを開催

●とき 平成十九年三月十六日(金)  
●ところ 神戸市西区・兵庫県立大学「三木記念講堂」

〈集その1〉

このフォーラムは、昨年十二月六日、県連合会が兵庫県立大学経営学部と産学連携協定を締結したことを記念して開催された。開会にあたり、県連合会土谷

正男会長が「養父市商工会での産学連携事業の成果を県下に広げ、中小企業の発展、地域の活性化に貢献したい」とあいさつ。また、同大学の安室憲一経営

学部長は「台頭するインドや中国に真似されない産業開発が求められる。真似されないための個性は、地方の固有文化である」とあいさつした。

当日は、同大学経営学部、安室憲一学部長、同学部、瓦田太賀四教授が基調講演を行った後、同学部、佐竹隆幸教授がコーディネーターとなり、兵庫県産業労働部産業振興局長中村稔氏はじめ五名のパネリストによる公開討論を行った。

〔転入〕  
事業部長・細川好昭(南あわじ市)  
〔転出〕  
白川健治(吉川町)、石澤雄一郎(日高町)、櫻井みゆき(芦屋市)、米本智彦(山南町)、俊成宏一(南あわじ市)  
〔新規〕  
経営支援課主事 宮城雄二  
組織支援課主事 小野暁子  
業務推進課参事  
西村裕志(県信組から出向)  
〔研修交流〕  
総務課主査 竹定としみ(播磨町から)  
指導課主事 古川靖司(稲美町から)  
大藪恭子(稲美町へ)  
川本友美(播磨町へ)

## 基調講演① 追いつめられる「ふるさと」をどう守るか

兵庫県立大学経営学部  
安室憲一学部長

海外への企業進出の活発化に伴う国内産業の構造変化、小泉改革の「競争原理」の導入などにより、結果的に地方経済の衰退が起こっている。また、グローバル経済の進行は海外の安価な

製品の輸入や、「高付加価値」の産業技術の途上国流出など、「ふるさと」だけでなく、先進国経済全体が危機に立たされることとなった。

またグローバル競争は、全ての価値を平準化する。単なる新製品開発では、すぐに低価格で

模倣品が製造される。よって、これからの企業には、他に真似されない個性が必要となり、自社の特性やユニーク性を高め、他との差異化を図らねばならない。そして、そのユニークさの源泉は、地域の伝統文化にあると考えられるため、「ふるさと」

の再発見は今後一層重要となっていくと考えられる。地域の受け皿(意欲に満ちた経営者たち)を育成することや、ニューベンチャーとしての農業・農村の可能性など、今後の新たな「ふるさと」構想を描き、地方の再生を図ることが今後の急務である。

## 基調講演② 兵庫県立大学と養父市商工会の産学連携事業を通して

兵庫県立大学経営学部  
瓦田太賀四教授

よくある工業系・理系との連携ではなく、経営学部と連携する意義は、既存企業を見直し、いかに自企業を変革するかといった経営戦略の仕組みづくり(「組織革新型」産学連携)を行うことにある。

具体的には、学生が企業で就

業体験をしながら、受入先企業の実態調査を行い、大学においてビジネスプランを作成する「相互型インターンシップ事業」、企業側のノウハウを活用しながら、学生のアイデアを事業に結びつける「学生提案型事業創造」、さらには企業経営者に対して「経営者塾」を通じて、経営革新のためのビジネスプラン作成の支援、これらをベースに「地域リーダーとのコラボレーション」を行う。



**住友生命**

貯めて、使える。

保険を超える保険

**LIVE ONE**

スミセイ総合生活口座 | ライブワン |

# 「日本・フィリピン友好セミナー」を開催

芦屋市商工会

阪神地区商工会連絡協議会（小田脩造会長）は三月一日、芦屋市民センターにおいて、「日本・フィリピン友好セミナー」文化・経済・学術交流の促進を」を開催し、四商工会の役員や芦屋市国際交流協会などから約百人が参加した。

冒頭、小田脩造会長（芦屋市商工会会長）が参加者への謝辞と「フィリピンは魅力のある国、今後一層の交流を」と挨拶した。

続いて、フィリピン総領事館のラミロ・ロペス総領事から「この機会にフィリピンという国をよく知っていただき、友好を深め、ぜひ観光等で訪れてください」と挨拶。

講演では、フィリピン経済区

庁（PEZA）のリリア・デリマ長官が「フィリピンは、今、IT産業を中心に外国からの投資も活発で、投資環境を整備しており、日本からも積極的な投資をお願いしたい」との話が



▲リリア・デリマPEZA長官

あった。なお、デリマPEZA長官は大変な親日家で、日比経済交流促進の功労者として昨年、日本政府から旭日重光章を授与されている。

続いて、ジェトロ（日本貿易振興機構）マニラセンター・辻一郎アドバイザーからは、「フィリピンの対日感情は非常によく、

## 「招福の香 エンジェル・バッグ」

一宮町商工会（現淡路市）

一宮町商工会（現淡路市商工会）では、平成十八年度もJAPANブランド育成支援事業の採択を受け、新たな香りの楽しみ方の提案として「エンジェル・バッグ」を開発した。

「招福の香 エンジェル・バッグ」の香りは全十五種類あり、



優しい国民性。国民の多くが英語を話せるのは、何よりの強み。介護施設や老健施設の従事者が日本では不足している、この分野でも提携できるのではないかと駐在十八年の経験をおまえての話があった。

なお、セミナー終了後、フィリピン総領事館やセミナー関係

かばんや携帯電話のストラップとして、キーホルダーや車内に吊り下げたりして利用できる。

また、日常生活の中で同じ香りを恋人や夫婦が手軽に楽しめるように二個一組のペアで商品化した。

香りは現代の上質な暮らしに

者に加えて山中芦屋市長、長野芦屋市議会議長の参加を得て、ホテル竹園で「友好の夕べ」を開催。

懇親会では、デリマ長官、ロペス総領事もすっかりうち解けて、身振り手振りで話に興じられ、一挙にフィリピンと日本の距離が縮まった。

欠かせないものとして広がっており清浄な場所づくりが幸運をもたらす第一歩。香りは時代とともに変わりつつ愛され、現在ではヒーリング、リラクゼーション、癒しなどに香りとして日々の生活の様々なシーンで使われている。

## 第二回やきものの里 春ものがたり —あなたの五感で楽しむ—

篠山市商工会

来る四月二十八日から五月六日にかけて篠山市今田地区において「やきものの里 春ものがたり」が開催されます。



『五感で楽しむ』と題して、触覚〜陶芸教室・

焼成体験〜、視覚〜各種展覧会、聴覚〜各種コンサート、

味覚〜味覚イベント〜、臭覚〜菖蒲湯〜等、を全身で味わい、楽しめるイベントが地域内各所で行われます。

春の陽気の中、「今田やきものの里」の楽しみ方が凝縮されている、このイベントにぜひ足を運び下さい。

## 播磨臨海地域に

道路建設を！

稲美町・播磨町商工会

稲美町と播磨町の両商工会は、去る三月二十日、播磨臨海部の四商工会議所と「播磨臨海地域道路網建設促進協議会」を設立し、会長に尾上壽男姫路商工会議所会頭を選出した。

播磨臨海部に位置する姫路、高砂、加古川、明石、播磨、稲美の四市二町の面積は神戸市とほぼ同じで、人口約百二十万人

を有する。産業では製造品出荷額等は約五兆円を誇り、政令指定都市である横浜市や大阪市を凌駕している。

しかし、経済成長に伴い、地域交通の要である道路は、交通混雑の緩和、沿道環境の改善、交通の快適性、大型車等の物流の効率化など、課題が山積している。そこで神戸〜姫路間約五十キロメートルを結ぶ自動車専用道路の建設を促すよう国土交通省に要望活動を行う方針である。

# 創業から情報化・経営革新まで、是非、ご利用ください



**前田 欣也** (主任チーフアドバイザー)  
社会保険労務士 行政書士

**【専門分野】**

「経営」と「人事労務」にかかわる法律が私の専門分野です。「ひと」を大切に、これが法の根本精神であり、私の基本でもあります。

- ・契約書作成や債権回収などの各種法律相談
- ・事業にかかわる許認可や助成金
- ・人事労務管理・就業規則の作成など、幅広く対応しています。

**【メッセージ】**

「親切・ていねい」にお客さまに対すること、これが私の信条です。お困りごとはありませんか? 「きちんとした契約書を作ってトラブルを減らしたい」「役所の手続きがよく分からない」「従業員に生き生きと働いてもらうにはどうしたらいいだろう?」お悩みに親切ていねいにお応えします。それが私の役割です。

**上山 修一** (チーフアドバイザー)

中小企業診断士・技術士補 (経営工学) MBA (関西学院大学)

**【専門分野】**

生産管理・原価管理・経営管理 (労務管理・組織体制構築)・創業支援、が専門分野です。経営計画の改良・効果的な経営体制の構築・事業を支える人材の育成等、視野の広い考えでアドバイスをしてまいります。

**【メッセージ】**

事業を起こすのも、その後の継続的な発展も、時代の流れを読むことが大切な時代になってきています。

がんばってれば何とかなる時代が過去のものになりつつありますが、がんばったことが成功につながるポイントは必ず存在します。経営革新・新規事業展開が、



企業の新たな利益創出にいかに大切かを、製造業での経験と、長年の地域事業者支援の経験を生かし、創業段階・成長段階・成熟段階・新規事業展開段階のそれぞれの状況に応じたサポートをいたします。

**山本 雄三** (副主任チーフアドバイザー)  
**【専門分野】**

元気企業や地域の活性化を創造する支援施策の一つである中小企業金融制度から会員ニーズにあった融資をアドバイスさせてもらうこと。経営上の悩みや心配事を少しでも改善できるようサポートすること。経営の好転・安定化を図ることを担当します。

**【メッセージ】**

地域・業種・企業間等の格差の拡大が指摘されていますが、多様で活力ある中小企業こそが経済の発展と活力の源泉です。商工会は地域産業の維持・拡大を通して魅力ある地域をつくりさらに地域の活力を取り戻すという重大な役割を担っており、その一員として会員皆様のお手伝いができることは大きな喜びです。

健全な経営は、円滑な資金繰りからです。資金繰りの管理は、早めの自助努力と措置が大事です。

## 総合相談室



電話：078-371-1362 (直通)  
FAX：078-341-4452

**宇田 名保美** (チーフアドバイザー)

**【専門分野】**

創業・新事業開発やインターネット活用 (ホームページ製作・運営等)、業務におけるコンピュータ活用 (顧客データベース等)、ICT を活用した経営革新、プライバシーマーク (個人情報保護の認証制度) や ISO27001 (ISMS) に基づいた仕組みづくりをお手伝いします。

(<http://www.uda-kobe.co.jp>)

**【メッセージ】**

フレンドリーでわかりやすいご支援を心がけています。経営革新、プライバシーマーク・ISMS の制度を利用した経営計画を策定することで、経営改善につながる可能性があります。お客様が必要とする商品、サービスなのに、その存在が知られていないことで、売上が伸びていない場合、インターネットを活用した広告や販売が売上増加のきっかけになりえます。



URL:<http://www.shokoren.or.jp>  
〒650-0013  
神戸市中央区花隈町六十九  
☎(078)371-1361(直通)  
(078)371-1261(代表)  
(078)341-4452(FAX)

(申込先・問合せ) この件についての申し込み・問合せは、兵庫県商工会連合会事業部指導課までお願いします。

(申込方法) 詳しくは、募集要項をお送りしますので、返信用封筒(長形三号)に八〇円切手を貼ってお申し込み下さい。ホームページからでもダウンロードできます。

(採用年月日) 七月一日以降(受付締切) 五月七日必着

(二次試験) 六月五日 面接試験  
筆記試験並びに面接試験  
会場 神戸市・ラッセホール

(一次試験) 平成十九年五月十五日

(資格) 高卒以上、三十歳以下  
(待遇) 商工会等の給与規程に基づく

**兵庫県商工会等職員統一候補者試験のご案内**  
**商工会等職員を募集**  
(内容) 中小企業の経営指導等(勤務地) 県内の商工会等(資格) 高卒以上、三十歳以下(待遇) 商工会等の給与規程に基づく